

新型コロナ対策 寝屋川市新たな取組み

寝屋川市は、コロナ変異株による感染拡大と国の緊急事態宣言を受け、新たな感染防止対策を進めている。

新たな対策は、教職員や保育士などへの定期PCR検査、家庭内感染防止のための緊急避難宿泊施設の確保、高齢者対象のワクチン接種会場までのタクシー利用支援。

【教員・保育士等へのスクリーニング検査】

市は、学校園での感染者発生時、クラス全員のPCR検査や、2週間の学級休業などの対処方針を決めているが、教員が感染した場合、学年閉鎖や学校閉鎖も考えられ、子どもや家庭への影響は大きい。子どもへの感染防止を徹底するためにも、市立小中学校の教員、幼稚園(市立・私立)、保育所(市立・民間)、留守家庭児童会、放課後デイサービスなどの子どもと接する従事者を対象に、ワクチン接種が完了するまでの間、2週間に1回のPCR検査を実施する。期間は6月～9月末(想定)。

【家庭内感染ストップ！緊急避難の宿泊支援】

病床のひっ迫により、病院や療養施設に

入所するまでの自宅療養が長期化している。家庭内感染のリスクが高まる状況に対応して、感染者が発生した家庭に一時的な避難先を提供する。対象は、陽性者の同居家族、同居家族と家庭内隔離が必要な医療・介護従事者。

6月1日から市内のホテル2か所10室体制で対応する。「決定から1か月、不安を抱える中で手をあげて頂いて大変感謝しています」とコロナ対策室担当者は語る。

※利用の詳細は、新型コロナウイルス感染症対策室
☎072・829・1210まで



宿泊施設イメージ

【高齢者の接種会場までのタクシー利用支援】

ワクチン接種会場への移動手段がない高齢者が接種の機会を逃すことがないよう、タクシーの基本料金(680円)を助成する。※重度障害者は、利用券4枚を追加で交付。

(問)新型コロナワクチン担当

☎072・824・1181(内3502)